

## 進化する『VMD』

—商品と店舗空間の間をつなぎビジュアルに直接訴える『VMD』を追う— [1/2]

2017年4月21日 丸山 朋子

設計者として専門店をメインに10年程お店づくりに携わってきた中で、感じていた事がある。店舗空間をデザインする上で、商品が陳列された状態を想像しながらデザインを進めたいという思いでいたものの、実際の打合せでは、大枠の空間デザインにGOサインを頂いた後は、棚の枚数や什器の形状がメインとなり、商品に近い部分に関して(商品の詳細、陳列方法、売り出したい商品についてなど)は、自分の届かないところで形になっていくことに違和感と切なさを感じていた。そのときに出会ったのが、商業設計とは違ったアプローチをする『VMD』の考え方である。今後、連載レポートとしてこれからのお店づくりにおける『VMD』の重要性をお伝えしていきたい。

## ■もっと商品を魅力的に見せるお店づくりのアプローチがあるのでは

店舗空間と共に商品の見せ方や演出もデザインすることで、店舗空間と商品がもっと密接に共鳴するお店づくりができるのではないかという思いが強くなった。近年『VMD』を専門とする方と接する機会が増えたこともあって、店舗空間と商品をつなぎ、商品を魅力的に見せる『VMD』に興味を持った。驚いたのは、今まで想像していた『VMD』とは違い、商品を陳列したり棚の上のディスプレイを演出するなどして商品を魅力的に見せること以上に、消費者の購買意欲を上げるビジュアル表現によって、売上につなげることを強く意識していたことだった。

- ポイント**
- ▶ 売りたい商品をきちんとお客様に認識していただき、手に取ってもらい、売上につなげる
  - ▶ 陳列2週間後の売上結果と比較をして、修正を続ける

オープン後『VMD』し直した店内は商品が生き生きと変化しているように感じられ、お店の売上も上がっていた。「お店づくりの中で、デザインという点では近い業務領域と思っていたけれど、なにが違うのか・・・」

『もっと商品を魅力的に見せるお店づくりのアプローチ』をひもとく鍵を、この『VMD』の中に感じ、研究を開始した。『VMD』を掘り下げていくうちに気づいたのは『VMD』の世界にも大きな変化、進化の波が来ていることだ。

## ■そもそも『VMD』とは

時代によっても様々な企業の中でも、その役割についての解釈は様ではなく、定義自体が幅広い意味を持つことにも由来しているように感じるが、単純に棚などに飾り付ける(ディスプレイ-Display-)ではないことは確かだ。

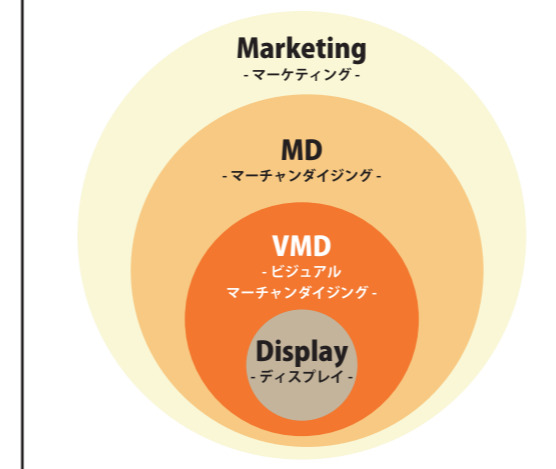
『VMD』とはビジュアル・マーチャンダイジング-Visual Merchandising-の略であり、  
マーチャンダイジングを視覚化すること

※2  
マーチャンダイジング(商品計画・商品政策)により、企業の独自性を表し他企業との差別化をもたらすために、商品をはじめすべての視覚的要素を演出し管理する活動である。VMDとは顧客の立場にたち、マーチャンダイジングを視覚伝達することにより、見やすく、選びやすく、買いやすい快適な売り場環境を提供する仕組みと方法のことをいい、マーケティングの一環として行われる企業戦略活動である。

出典：VMD用語辞典 / 日本ビジュアルマーチャンダイジング協会編著

未熟な私の現段階での解釈は、図1のように思っている。『VMD』はディスプレイは同義ではなく、ディスプレイは『VMD』の一要素である。またMDの中に属し、更にマーケティングの中に属することとなる。

図1:筆者が考える『VMD』模式図



商品の販売促進を促す為のビジュアル表現することは重要な任務といえる。

※1【ディスプレイ-Display-】: 展示、陳列、表示、誇示の意

※2【マーチャンダイジング(MD)-Merchandising-】:

商品政策、商品化計画のこと。メーカーでは製品計画、製品開発、製品管理のこと。小売店や問屋では商品を仕入れ取り揃える活動のことを指す。消費者動向、商品動向、競合他社動向を把握し、適品を適時適量適所適価で揃えることが理想。一般的にはマーケティングの中に含まれる概念。

※3【マーケティング-Marketing-】: 企業が市場のニーズを満たす為に、製品またはサービスを顧客に向けて流通させることに関して行う市場活動のすべてをいう。

その内容には企業戦略・政策、商品計画、市場調査、販売、販売促進などがある。

各用語出典：VMD用語辞典 / 日本ビジュアルマーチャンダイジング協会編著

## ■商品を魅力的に見せるお店づくりの為に

これまでの私の設計では、図2のように、マーケティング(マーチャンダイジング・ブランディング)→空間設計→什器設計→商品陳列という流れの後に、『VMD』が入りOPENを迎えるという流れが一般的であった。しかしそれでは、店舗空間と商品との関連は薄くなってしまふ。図3のように『商品を魅力的に見せるこれからのお店づくり』の為に、マーケティングと共にVMD構想を立てた後に空間設計、什器設計へつなぐことで、店舗空間と商品が一体的にビジュアルコントロールされた状態となり、お店全体で商品訴求が可能となる。図3の形こそ本来の意味での『VMD』の役割となるが、そういう認識が薄いのも現状である。

図2:これまでのお店づくりのアプローチ手順

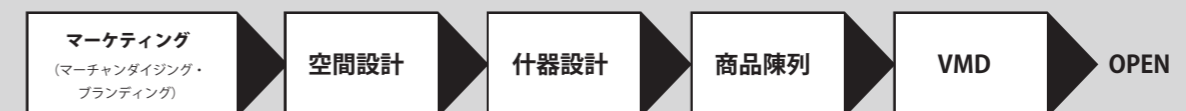


図3:商品を魅力的に見せるこれからお店づくりのアプローチ手順



店舗空間とは「何を」「どのように売りたいか」であり、それが一体的に表現されるのが望ましい。  
店舗空間と商品をつなぐ『VMD』を重視したアプローチは今後もっと重要視される。

# 進化する『VMD』

—商品と店舗空間の間をつなぎビジュアルに直接訴える『VMD』を追う— [2/2]

## リアル店舗空間におけるビジュアルの力

IT・オンラインショッピングの普及によりリアル店舗に求められる役割が急激に変化している。店頭での在庫には限界があり、オンラインショッピングと比較するとSKU数やボリュームでは圧倒的に不利である。空間デザインもシンプルかつ同質化傾向もあり、更に『商品をどう魅力的に見せるかが勝負の時代』に入っている。

スマホ所持率の向上と共に、瞬間的に物事を判断することが多くなり、『パッと見で商品が目に入り、興味を抱かせ、手に取ってもらうこと』が更に重要視される。商品を魅力的にビジュアル訴求する『VMD』は、今後ますます変化し進化していくだろう。次回のレポートでは、その変化、進化についてお伝えしようと思う。

最後に、ビジュアル訴求の大切さに気づききっかけとなった海外でのショップのいくつかを『VMDポイント』と共にご紹介したい。

『VMD』で新しい消費意欲を持った中国の若者を狙え！！

雨軒's  
Discovery Channel

爆買いとはまったく異なる新しく冷静な感覚を持つ中国の若者は、海外旅行のときのリアル店舗での買い物に楽しさを感じている。オンラインショッピングにはないリアル店舗での商品の魅力に惹き寄せられ、購買意欲をかき立てられる。財布の紐を緩める要因の1つは、商品を直接体験できること。魅力的な『VMD』で中国の若い観光客の心を掴もう！

## JOAN'S on THIRD @ロサンゼルス

パッと見の演出とわくわくする食材の陳列で手に取りたくなる



高級食品店。健康食品中心の食材、デリ、グロサリーが並ぶ。焼きたてのパンやチーズ、コーヒーも豊富。外のテラスでカフェスタイルで食事も可能で、朝からロスのヘルシー志向者で満席。オリジナルグッズやお菓子、水などパッケージもシンプルにデザインされ、洗練された印象。

VMD POINT

パッと目を引くみかんの木。数種類のグロサリーは高低さのある陳列方法で楽しい売り場を構成している。

数種類のチーズを魅力的に見せる陳列の奥には、ワインボトルにピッタリ合った壁面什器に雑誌と一緒に陳列される。チーズ、ワイン、シーンを組み合わせた美味しさのイメージ訴求が完成されている。



**JOAN'S on THIRD**  
LOCATION 8350 W 3rd St, Los Angeles, CA 90048  
Tel +1 323-655-2285  
Hours Mon - Sat 8am-8pm, Sun 8am-7pm

## Dandelion Chocolate @サンフランシスコ

ショーケースを使わない陳列でダイレクトに消費意欲を刺激

2013年に自動車修理工場を改装してオープンしたシングルオリジンのカカオ豆とオーガニックのきび砂糖だけでつくる Bean to Bar Chocolate (ビントゥーバーチョコレート)の専門店の本店。工房とカフェを併設する。2016年には日本に上陸も果たした。



**Dandelion Chocolate**  
LOCATION 740 Valencia St, San Francisco, CA 94110  
Tel +1 415-349-0942  
Hours Sun-Thu 10am-9pm, Fri, Sat 10am-10pm



VMD POINT

ショーケースもなく、包装もないダイレクトなビジュアル訴求の陳列で思わず注文したくなる。カトラリーも一緒に陳列するなど、小技も利いている。

## SCHOOLHOUSE electric&supply.co @ポートランド

ポートランドらしさの表現

@ポートランド

「実りある生活のための道具 (Tools for Productive Living)」のコンセプトでセレクトされた長く使える多くのライフスタイルアイテムを販売するフラッグシップショップ。

アメリカの古き良きヴィンテージの照明器具を復刻させ販売。20世紀初頭に建てられた赤レンガの元倉庫の1階が店、2階に工房を構え照明器具を手作りする。家具、食器、文房具など扱う商品は幅広く、コーヒーショップも併設。

古いものを大切にする文化のあるエコな都市ポートランドの魅力が詰まったお店。商品と空間一体での訴求によりポートランドに根づくカルチャーも訴求している。

VMD POINT



**SCHOOLHOUSE electric&supply.co**  
LOCATION 2181 N.W. Nicolai St., Portland, OR 97210  
Tel +1 503-230-7113  
Hours Mon-Sun 9 am-6 pm

## Retail Design Collective2016 @ニューヨーク

毎年恒例の展示会

@ニューヨーク

毎年12月上旬に行われる新作のマネキンを揃えた展示会。『VMD』やショーウィンドウのディスプレイなど目を引く展示が多数揃う。今年は是非とも参加してみたい。



※VMD『Office Irie』撮影